

「辛いことがあっても続けてこられたのは、やっぱり動物が好きだから」



悩みを乗り越え、前向きに歩んだ 力の源

【動物看護師として向上心高く活躍されているマタタビさん。

「この仕事に向いていない」と思い続けていた過去から、

現在までの気持ちの変化をお伺いしました】

Q. 現在までの働き方

動物病院勤務 / 勤務歴 11 年



Q. 今 1 番力を入れている取り組みは何ですか？ そのきっかけもぜひ教えてください

今は、猫の看護が得意！と言えるように勉強中です。

また、受付に立つことも多いので、なるべく飼い主さんとはコミュニケーションを取るように声をかけて話をよく聞くように心がけています。

“あなたの話をちゃんと聞きます”という姿勢を見せておくと、口数が少なく最初の反応が薄く感じる飼い主さんでも、いざという時、素直に相談して頂ける事が多いです。

Q. 仕事の中で大変だったことのエピソードと、それを乗り越えた方法を教えてください

働き始めて数年は落ち込む事が多く、動物看護師に向いていないんだろうなとずっと思っていました。

転職する事も考えられない位、塞ぎ混んでいた時期もありましたがとにかく目の前の仕事だけでもちゃんとやろうと思いつけてきました。



そんな中でだんだんと飼い主さんにも頼りにされるようになり、

「〇〇さんが居てくれないと困る」と言われた時に

自分の存在を認められた気がして、凄く嬉しかったです。

今までの頑張りが報われた瞬間でした。

与えられた仕事をこなすだけだったのが、もっと期待に応えたい、自分に出来る事は何か、もっと色々な事に挑戦したいと考えるように変わったきっかけになりました。



Q.「とにかく目の前の仕事だけでもちゃんとやろうと思いつけてきた」その原動力を教えてください

仕事が出来ない自覚もあり、自分がどうあるべきなのか、どうなりたいのかもよく分からず…でも分からないことを考えても仕方がないがないから、与えられた仕事だけでもしっかりこなせるように当時は頑張っていました。

そうすれば見えて来ることもあるんじゃないかなと思っていました。

実際、仕事がこなせるようになると心に余裕も持てて視野が広がって色んな事に興味を持てるようになりました。

辛いことがあっても続けてこられたのは、やっぱり動物が好きだからです。

自分の今までの人生を振り返ると常に動物達がそばに居て、様々な局面で支えられ助けられてきました。今度は私が動物達の力になりたい、貰った優しさを返していきたい、という想いを持って仕事をしています。



Q. 今後仕事と向き合う上で大切にしていきたいことは？

興味がある事は沢山ありますが、気持ちだけ突っ走る所があるので、最初からあまり大きな目標は立てずに、気張りすぎず少しずつ自分のペースでスキルアップして行きたいです。



マタタビさんの事例から考えてみよう！



「この仕事、向いていないかもしれない…」

そう悩み続けていたマタタビさんの心を動かした出来事の1つが「**飼い主さんの言葉**」。

マタタビさんのインタビューにあった「〇〇さんが居てくれないと困ると言われた時に、自分の存在を認められた気がして凄く嬉しかった」というエピソードはとても印象的でした。

褒められる、感謝されることで、それまでの努力やマタタビさんの存在そのものの価値が認められた瞬間＝承認欲求が満たされた瞬間でもあります。

多くの動物看護師さんにとって、飼い主さんからの言葉はとても大きな自信に繋がりますよね。

マタタビさんから飼い主さんへ「あなたの話をちゃんと聞きます、という姿勢を見せる」ことも、飼い主さんの承認欲求を満たし、マタタビさんや病院と飼い主さんの信頼関係の構築にも繋がっている、とても素晴らしいエピソードです。

実際にスタッフ間においても、**挨拶するときは相手の方を向く、声掛けに対する反応**、などといった些細な行動。相手の行動で素晴らしいと思うことを言葉や文章で伝えたり、

感謝の言葉を伝えること、そして信頼して任せることなども相手への承認です。

これらの身近な行動がお互いに取れると、**向き不向きという考えから、**

前向きに仕事をしよう！と思えるきっかけにも繋がっていきます。

特に新入社員や飼い主さん、患者さんといった、緊張や不安を抱かれている方々へは

承認欲求を満たすコミュニケーションを意識的に行えると良いでしょう。

